

宇都宮市立富士見小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・基礎基本の確実な定着	・朝の学習時における漢字や計算練習の実施、ステップアップシートの活用 ・A I 型学習ドリルを活用した、個に応じた基礎的・基本的知識・技能の定着	・6年生の全ての教科の「知識・技能」「思考・判断・表現」で市の割合を上回っている。
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・各教科の見方・考え方を働かせる教師のコーディネート工夫 ・「何を学んだのか」を実感させることのできる振り返りの工夫 ・I C T 機器の積極的、効果的な活用 ・各種学習調査の結果の分析と指導改善	・「自分から進んで学習に取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合は、74.2%～95.5%と学年によって差が見られたが、市の割合を上回っている学年が多かった。 ・「話合いに自分から進んで参加している」に肯定的に回答した児童の割合は、74.2%～92.3%と学年によって差が見られたが、市の割合を上回っている学年が多かった。 ・「情報の扱い方に関する事項」に関しては、昨年度課題があった領域であるが、市の割合より8.4ポイント上回っている。
・個に応じた指導の推進による学習意欲の向上	・興味、関心をもって取り組める学習課題の設定・教材の開発	・「勉強していて面白い楽しいと思うことがある」に肯定的に回答した児童の割合は75.7%～94.5%と学年によって差があった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・教科に関する調査から、基礎的な知識や技能は身に付いていることが分かるが、文章で説明する問題になると、正答率が下がったり、無回答も増えたりしているので課題が残る。授業の中で、自分の考えをもち、表現する時間を十分に確保していく。また、まとめや振り返りの際に、自分の言葉で学習したことをまとめたり、1時間の学びを振り返ったりする活動を充実させていくことで、児童の表現力を伸ばしていきたい。

・学習に対する取組に関しては、学年により差があるので、次年度も主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を行ったり、個に応じた指導を推進したりすることにより、引き続き学習意欲の向上に努めたい。